

「三重県議会中継と齋宮に関するアンケート」実施報告

三重県議会事務局と齋宮歴史博物館が実施しました「三重県議会中継と齋宮に関するアンケート」について、769名の方からご回答をいただきました。アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

平成29年7月11日（火）～平成29年7月25日（火）

(2) アンケート回収状況

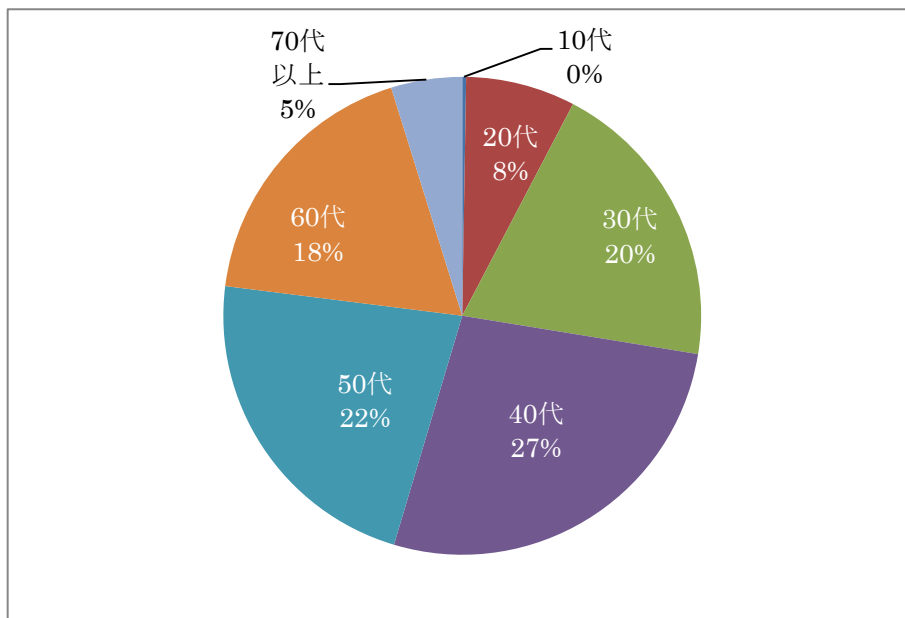
対象者数 1,169名
回答者数 769名
回答率 65.8%

(3) 回答者属性

【年代別】

【年代別】

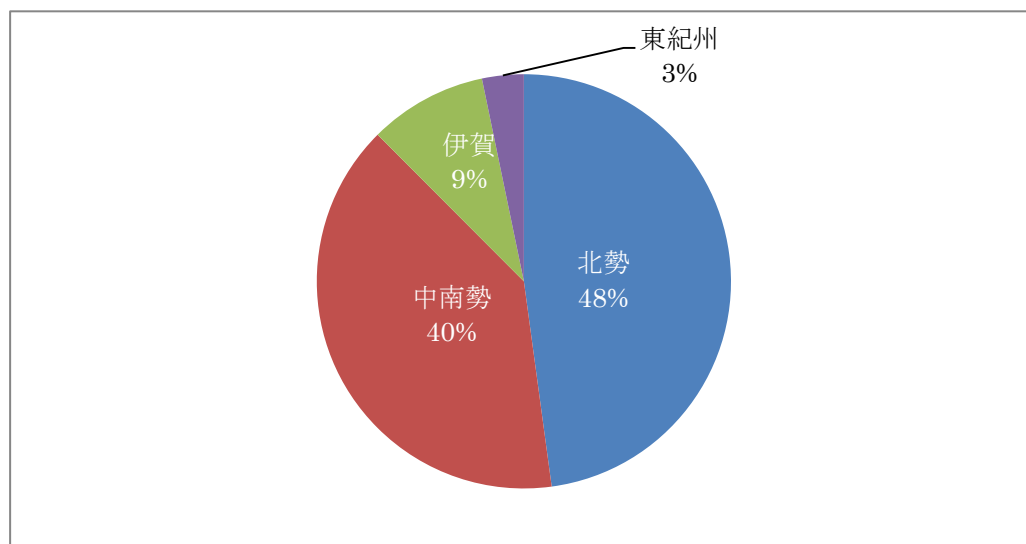
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数(人)	2	57	153	208	172	140	37	769
割合	0.3%	7.4%	19.9%	27.0%	22.4%	18.2%	4.8%	100.0%



※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中南勢	伊賀	東紀州	計
回答者数 (人)	368	305	71	25	769
割合	47.9%	39.7%	9.2%	3.3%	100.0%



※[北勢] 桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市

[中南勢]津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町、鳥羽市、志摩市

[伊賀] 伊賀市、名張市 [東紀州] 尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町

(4) アンケート集計結果

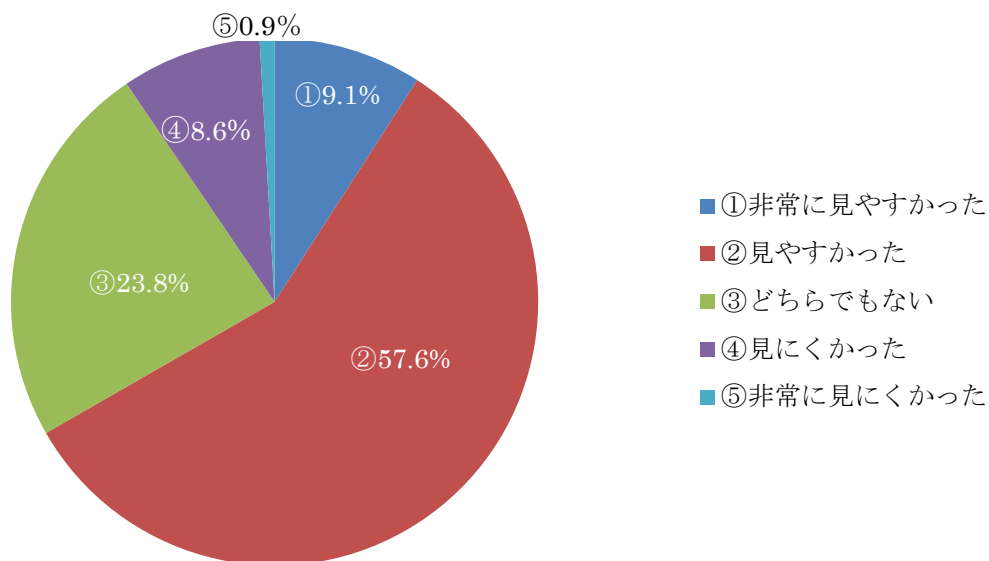
(議会中継への手話通訳の導入について)

Q1 手話通訳の画面について 1

	回答数	割合
①非常に見やすかった	70	9.1%
②見やすかった	443	57.6%
③どちらでもない	183	23.8%
④見にくかった	66	8.6%
⑤非常に見にくかった	7	0.9%
合計	769	100%

「①非常に見やすかった」と「②見やすかった」の肯定的な意見を合わせると、2/3以上となりました。

手話通訳の画面 1



Q2 手話通訳の画面について 2 (複数可)

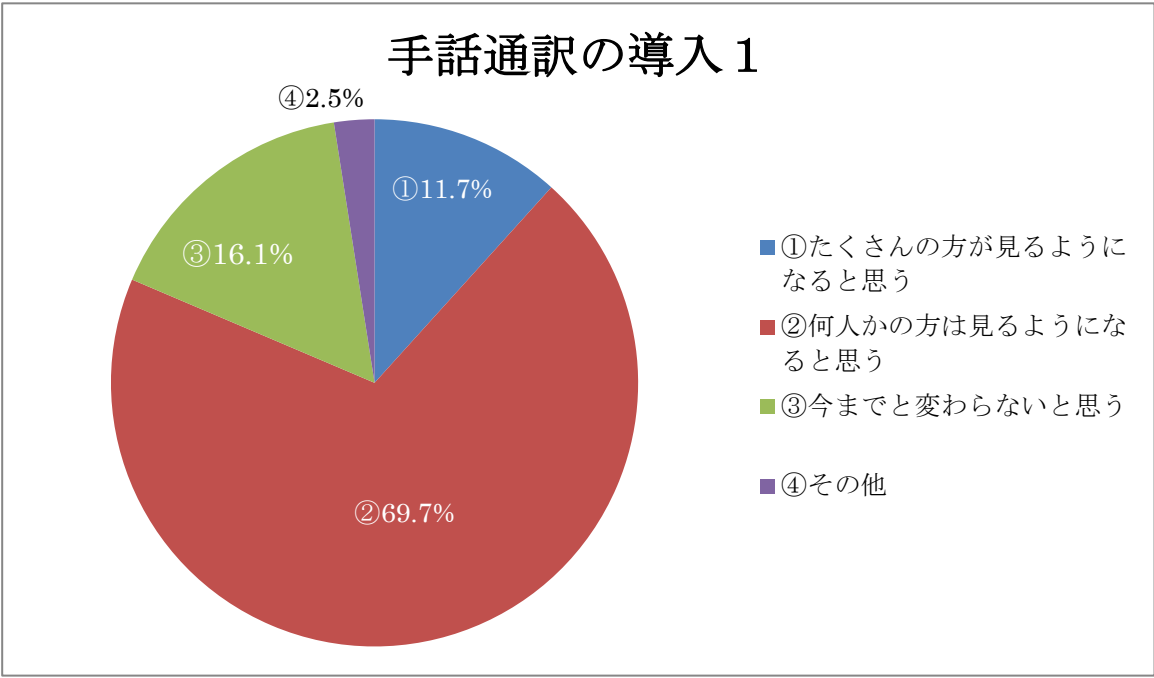
	回答数	割合
①画面の大きさがちょうどいい	407	52.9%
②画面の明るさがちょうどいい	299	38.9%
③画面が小さすぎる	148	19.2%
④画面が大きすぎる	32	4.2%
⑤画面が明るすぎる	9	1.2%
⑥画面が暗すぎる	16	2.1%
⑦その他	106	13.8%
合 計	1,017 (769)	132.3%

「① 画面の大きさがちょうどいい」の肯定的な意見が半数以上ありました。

Q3 手話通訳の導入について 1

	回答数	割合
①たくさんの方が見るようになると思う	90	11.7%
②何人かの方は見るようになると思う	536	69.7%
③今までと変わらないと思う	124	16.1%
④その他	19	2.5%
合 計	769	100%

「①たくさんの方が見るようになると思う」と「②何人かの方は見るようになると思う」の肯定的な意見を合わせると、全体の8割以上となりました。

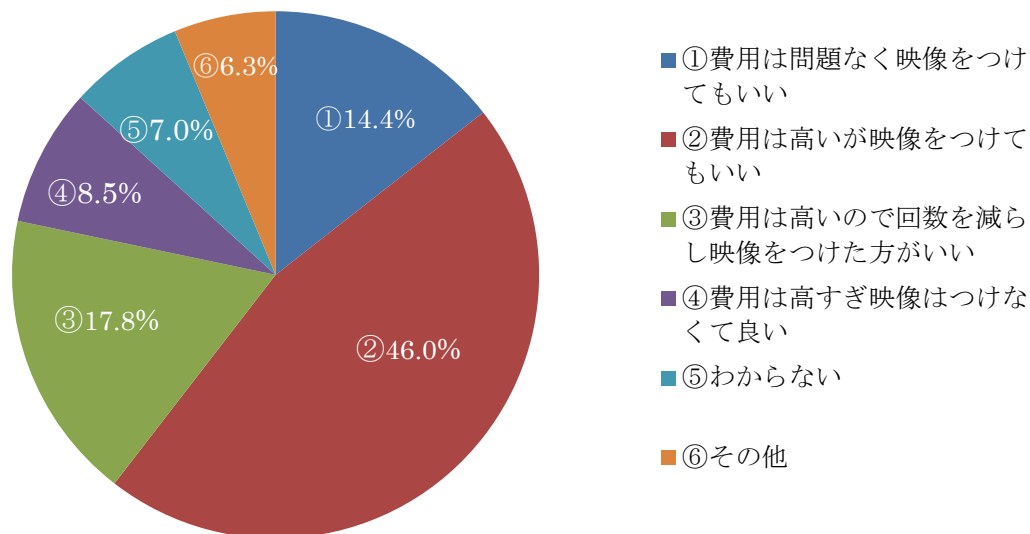


Q4 手話通訳の導入について 2

	回答数	割合
①費用は問題ないと思う。「議会中継」に手話通訳の映像をつけてもいいと思う。	111	14.4%
②費用は高いと思う。でも、「議会中継」に手話通訳の映像をつけてもいいと思う。	354	46.0%
③費用は高いと思う。手話通訳をつける回数を減らして、費用を安くして手話通訳の映像をつけた方がいいと思う。（回数を減らす方法としては、代表・一般質問のうち代表質問に限定するなどの方法が考えられます。）	137	17.8%
④費用は高すぎると思う。手話通訳の映像はつけないで良いと思う。	65	8.5%
⑤わからない	54	7.0%
⑥その他	48	6.3%
合 計	769	100%

①～③の肯定的な意見を合わせると、8割近くとなりました。

手話通訳の導入 2



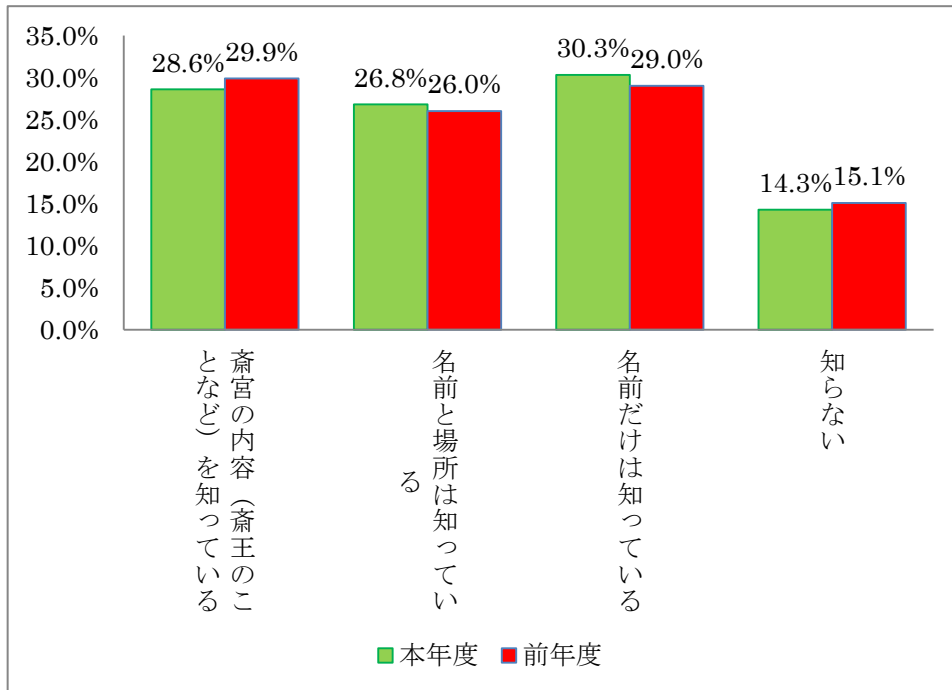
Q5 手話通訳の導入についてのご意見（自由回答）

この設問では、以下のような意見をいただきました。	
①積極的な肯定意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「手話も必要」、「手話通訳は大事」など、「必要」「大切」「重要」「大事」といった肯定的な言葉を含んだ意見がありました。 ・「平等に情報を入手する権利」、「目にする機会」など「平等」「権利」「機会」の言葉を含んだ意見がありました。
②どちらかといえば肯定的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「良いと思いますが、コストがかかり過ぎ」といった費用を問題にする意見がありました。 ・「福祉など関係あるようなことに手話」といった部分的な導入意見がありました。
③どちらかといえば否定的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「手話通訳より字幕を付けた方がよい」といった「字幕」の検討を求める意見がありました。
④否定的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「費用対効果で考えると通訳の必要性はない」といった費用面から手話通訳をつけることに否定的な意見がありました。
⑤その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「手話を必要とする人に聴くべき」といった聴覚障がいのある方にアンケートを行うことを求める意見がありました。 ・「必要な人はどのくらいいて、その中で中継に興味のある人は何人いるのか知りたい」といった対象人数についての意見がありました。

・「画面が小さくて見えない。」といった画面を大きくすることを求める意見がありました。

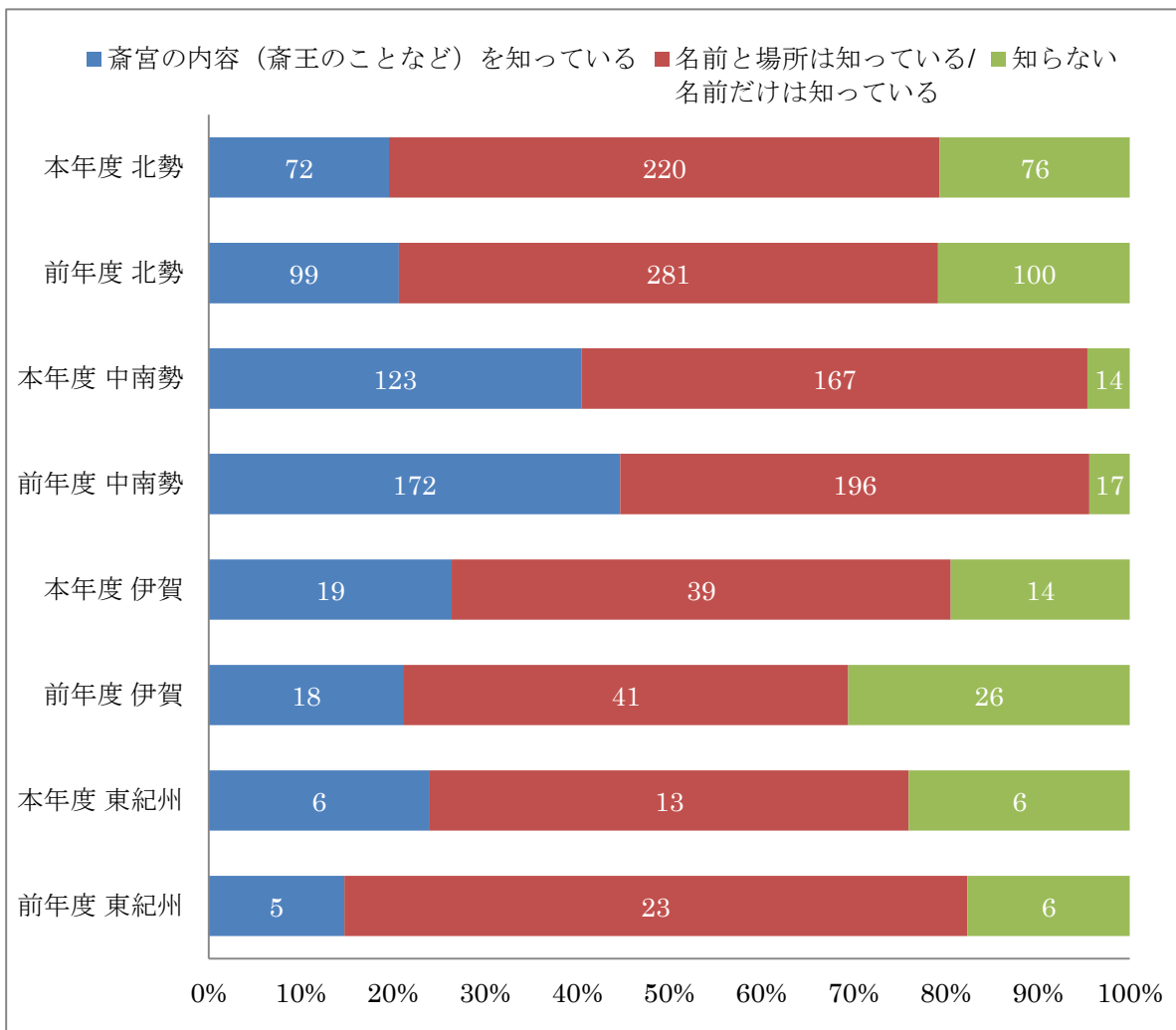
(齋宮に関する意識について)

Q6 齋宮をご存じですか。



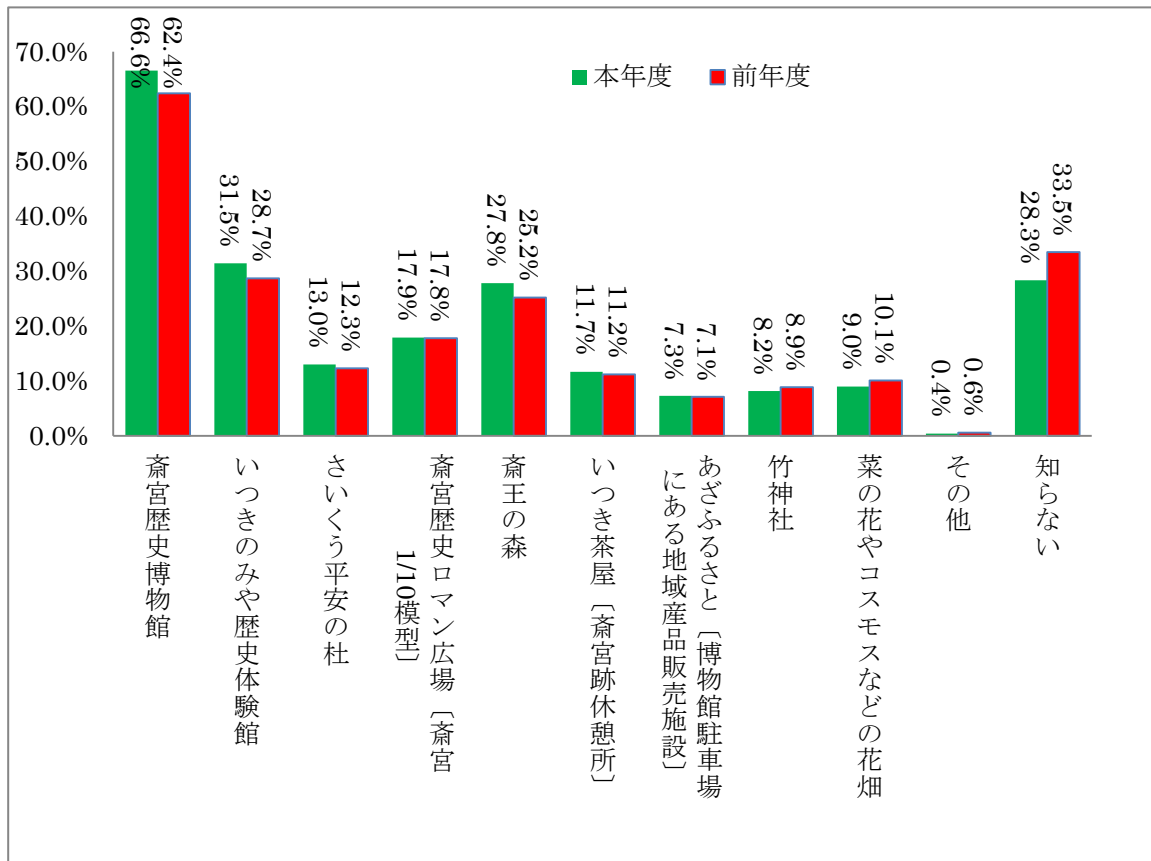
前年度に比べ、齋宮のことを知らない割合が 0.8%減少し、齋宮の認知度が若干上昇しました。また、名前と場所は知っている、名前だけは知っているが増加していますが、齋宮の内容を知っているは 1.3%減少しました。引き続き、広報活動に力を注ぐ必要があります。

【地域別にみた齋宮の認知度（数字は回答者数）】



伊賀、東紀州では認知度が高まりましたが、北勢、中南勢では認知度が下がっています。今後は、北勢や中南勢で名前や場所だけではなく内容を知っている人を増やしていくことが課題です。

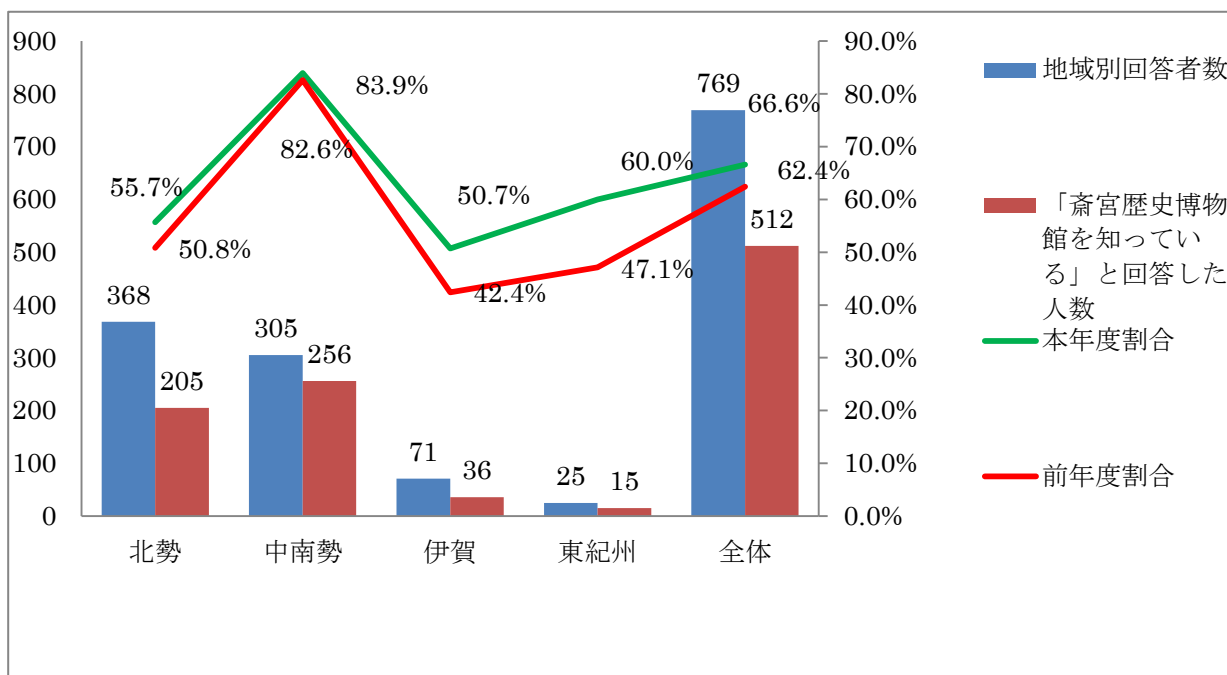
Q7 齋宮に関する施設で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、さいくう平安の杜などの史跡内の主要施設の認知度が前年度に比べ上昇しています。また、施設を全く知らない割合も減少しています。これらは、Q1の回答とともに考えますと、齋宮の認知度は下がったものの、齋宮を知っている人の中では、齋宮歴史博物館やいつきのみや歴史体験館、さいくう平安の杜の名前や場所を知っている人の割合が増加していることが分かります。なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

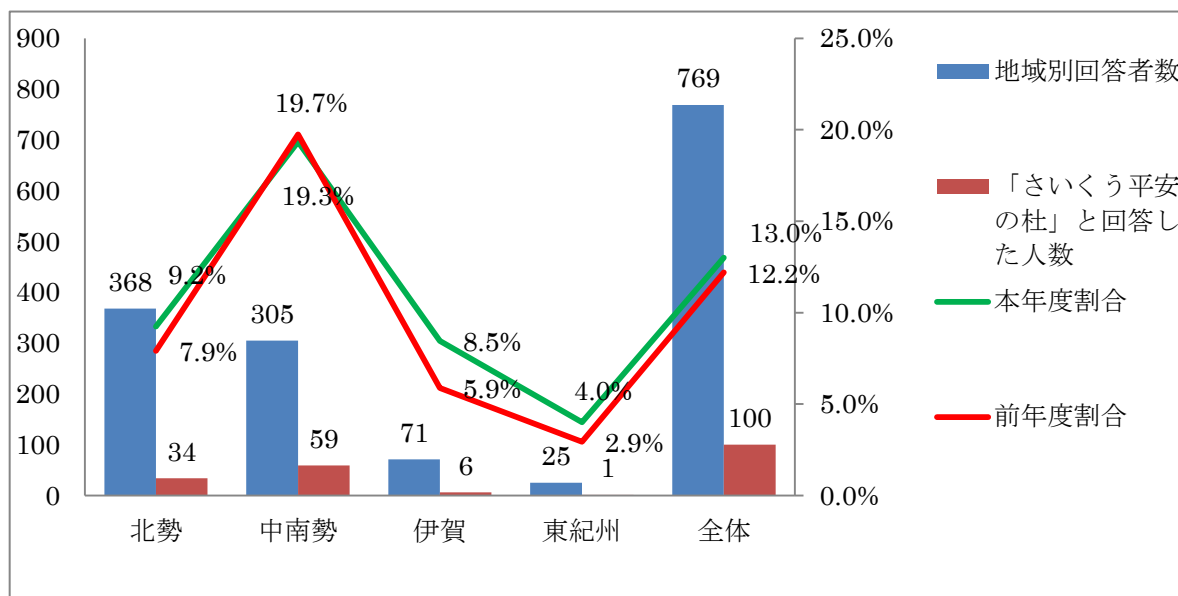
- ・いつきのみや地域交流センター
- ・梅林
- ・むかし菖蒲のある田圃

【地域別にみた「齋宮歴史博物館」の認知度（数字は回答者数）】



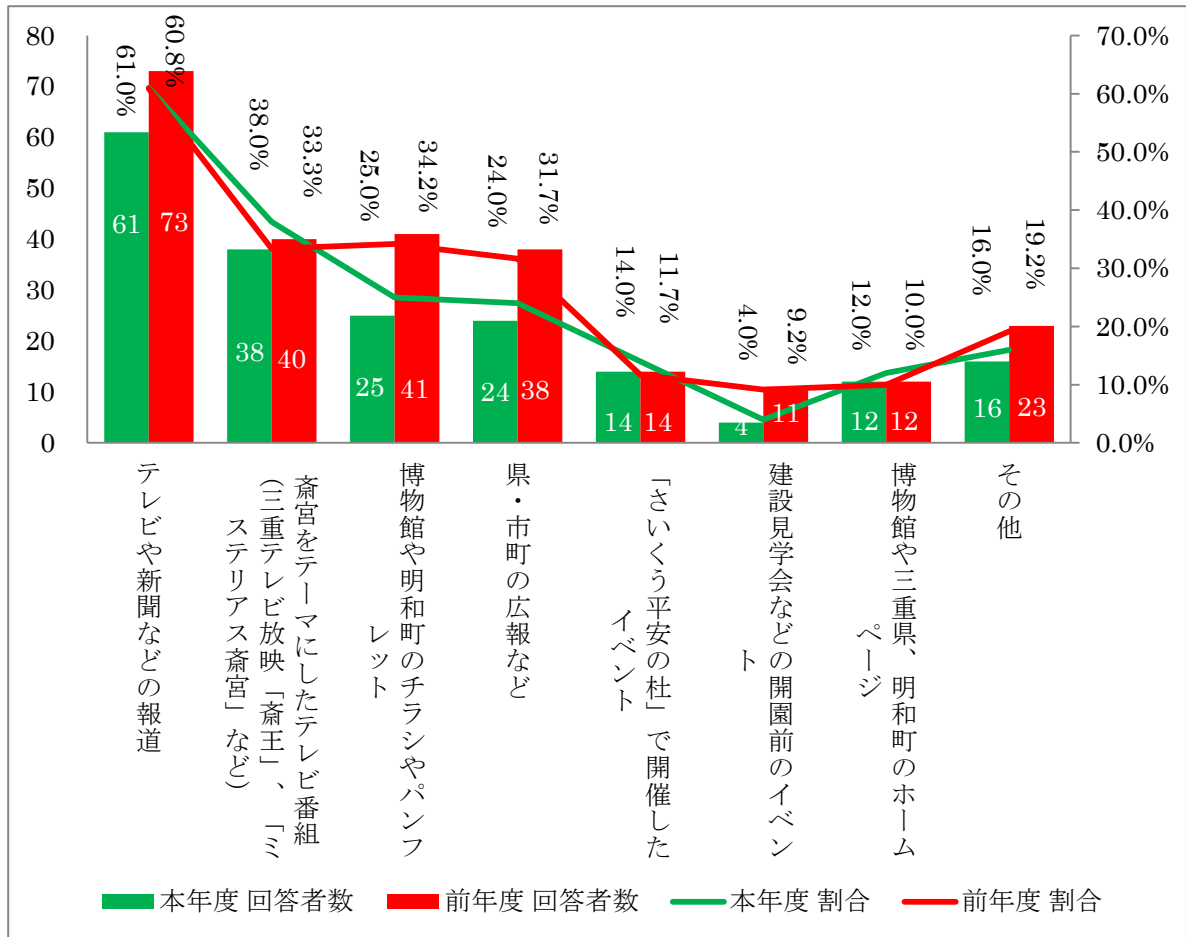
伊賀、東紀州で認知度が上昇しましたが、総体としてみれば、前年度と同様に、北勢、伊賀、東紀州地域で認知度が低い状態が続いています。これらの地域での認知度向上が課題です。

【地域別にみた「さいくう平安の杜」の認知度（数字は回答者数）】



「さいくう平安の杜」が開園して1年半が経過しましたが、中南勢地域でも前年度と同じく認知度は2割に満たない状況です。

Q8 Q7で、「さいくう平安の杜」を知っているとお答えいただいた方にお聞きします。どのような機会に知りましたか。



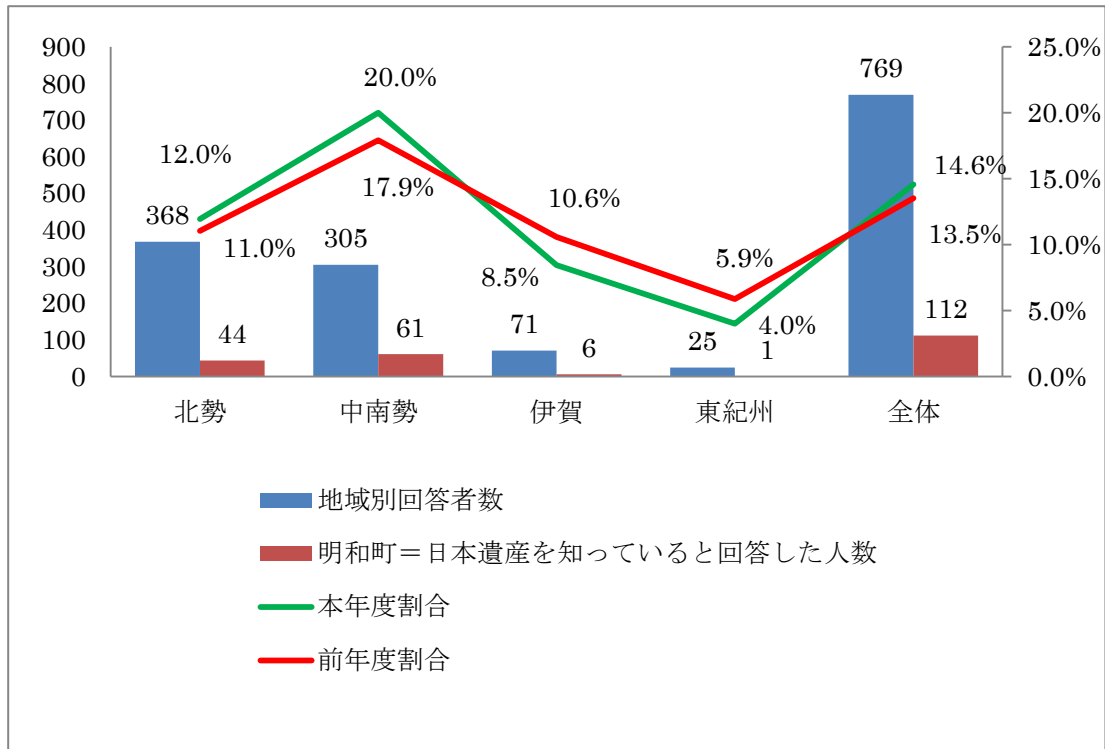
認知度向上には、イベントの開催はあまり効果が無く、マスメディア、広報刊行物等の効果が高いという前年度と同様の結果が示されました。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

- ・現地に行った、付近を通った
- ・電車から見えるから
- ・電車のラッピング広告
- ・地元なので

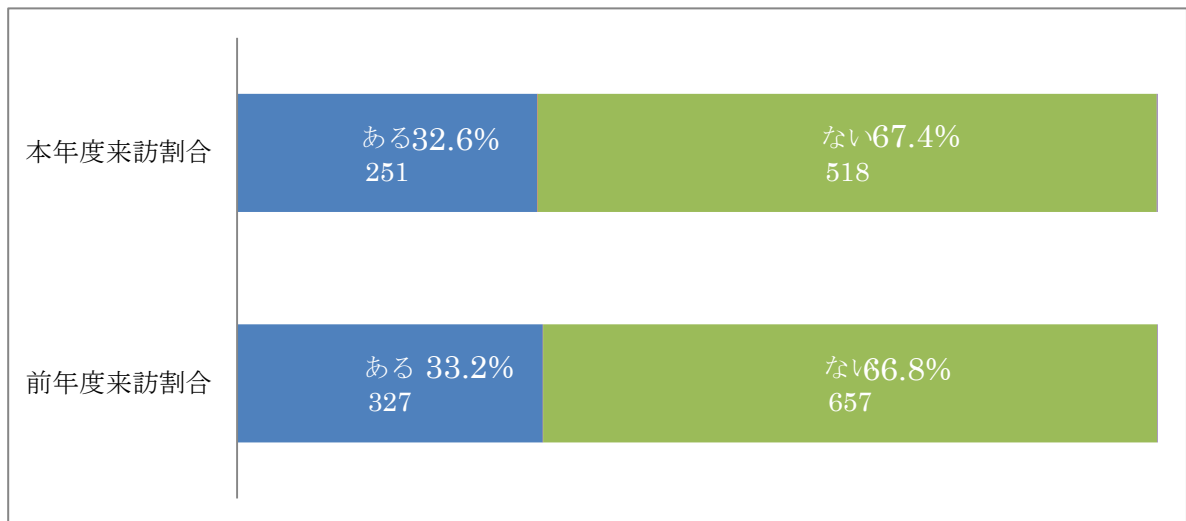
Q9 明和町の「祈る皇女齋王のみやこ 齋宮」が日本遺産に認定されていることをご存じですか。

【地域別にみた明和町の日本遺産登録の認知度（数字は回答者数）】



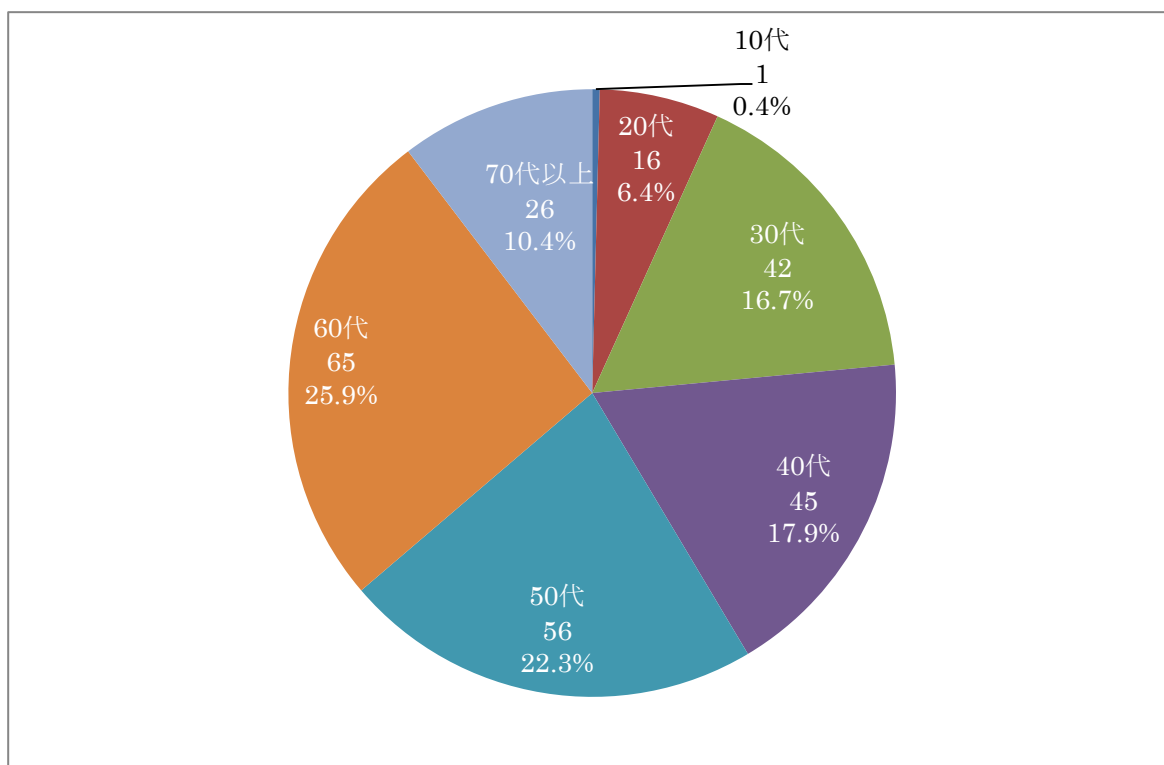
明和町の日本遺産登録について、中南勢において前年度に比べ 2.1%認知度が向上しましたが、依然 20.0%と低い状況が続いています。

Q10 あなたは齋宮に行かれたことがありますか。



わずかですが、齋宮来訪者の割合が減少しました。齋宮認知度の減少によるものと思われます。

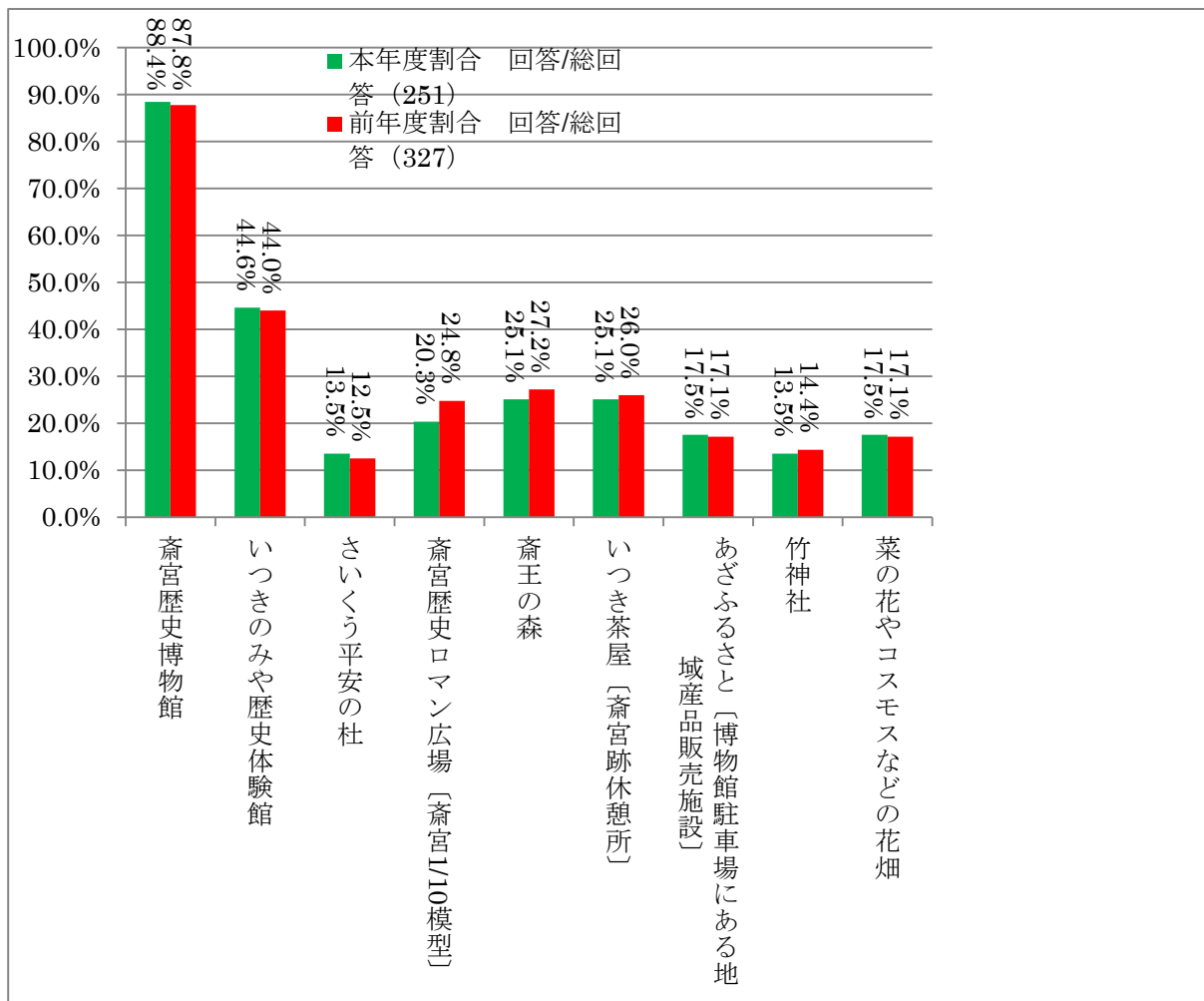
【齋宮を訪れたことがある回答者の年齢層】



40代が17.9%と前年度の24.0%から6.1%減少しています。50代～70代以上は、58.6%と前年度の53.0%から5.6%増加しており、来訪者の半数以上を占めています。

Q11 Q10で、「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。その時どこに行かれましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【齋宮訪問者の訪問先の割合】

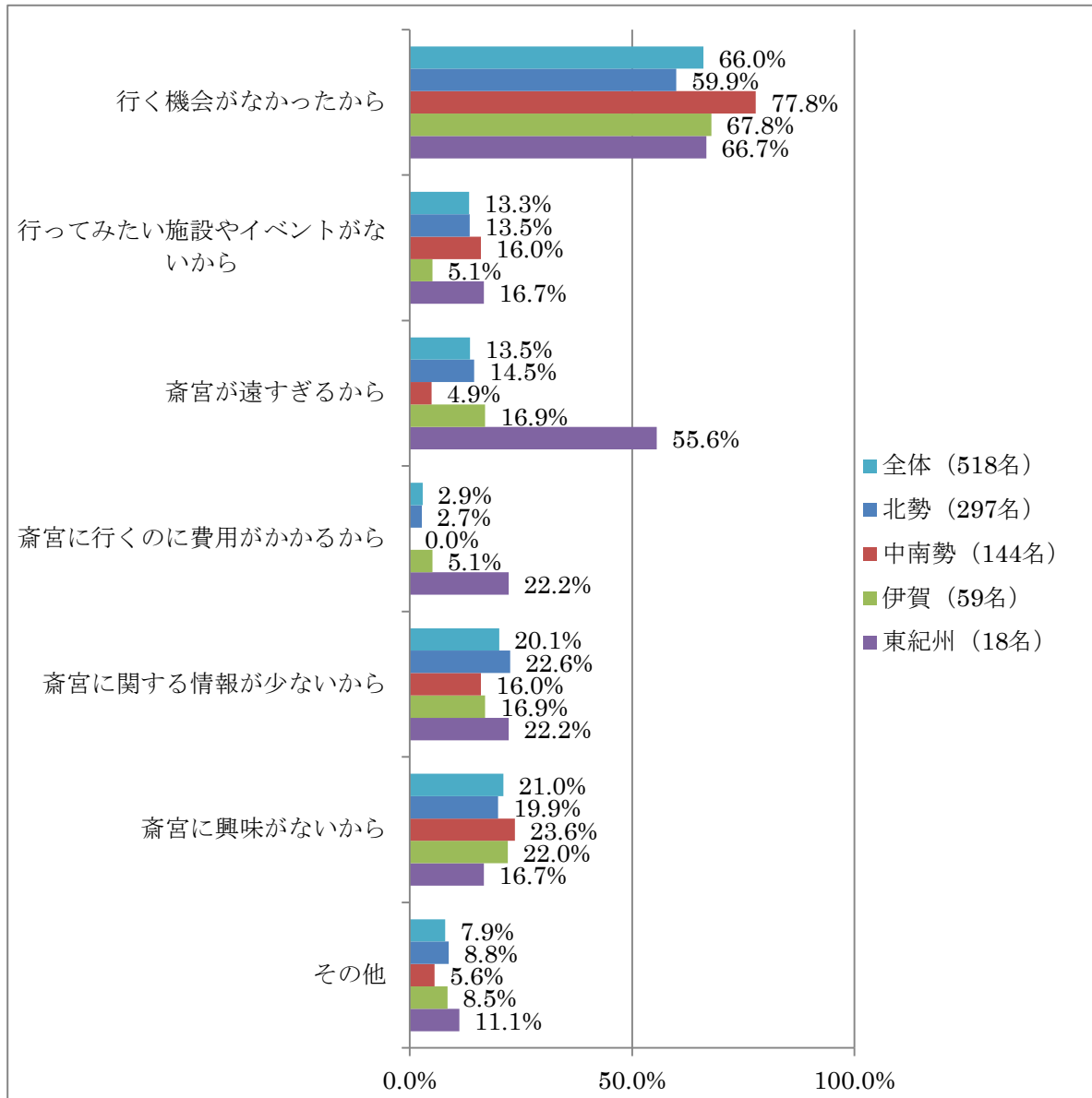


前年度に比べ、齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、さいくう平安の杜、物販施設などで訪問率が増加しました。ただ、前年度と同じく、9割近くの博物館と比べ、他の施設は5割以下にとどまっています。齋宮跡を訪れた際、多くの人が博物館だけを訪れ、他の施設を訪れていないことを示しています。

なお、この他に、「齋王まつりに参加した」、「明和町のイベントの際に立ち寄った」のほか、「いつきのみや地域交流センター」という回答がありました。

Q12 Q10で、「ない」とお答えいただいた方にお聞きします。齋宮に行くことがなかったのは、どのような理由ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【地域別 各回答数、「ない」と回答した総数に対する各回答の占める割合】



「行く機会がなかった」が全体で7割近くを占めますが、同時に「行ってみたい施設やイベントがない」や「齋宮に興味がない」を選ぶ人もいることから、「行きたいけれど」行く機会がなかったと受け取ることはできないようで、これは前年度も同じ傾向でした。

東紀州において、齋宮が遠すぎるからが40.2%、齋宮に行くのに費用がかかるからが14.5%前年度に比べて増加していることが顕著な変化としてみられます。

なお、その他として記入されたの主な内容は次のとおりでしたが、ほとんどが「齋宮を知らなかったから」でした。

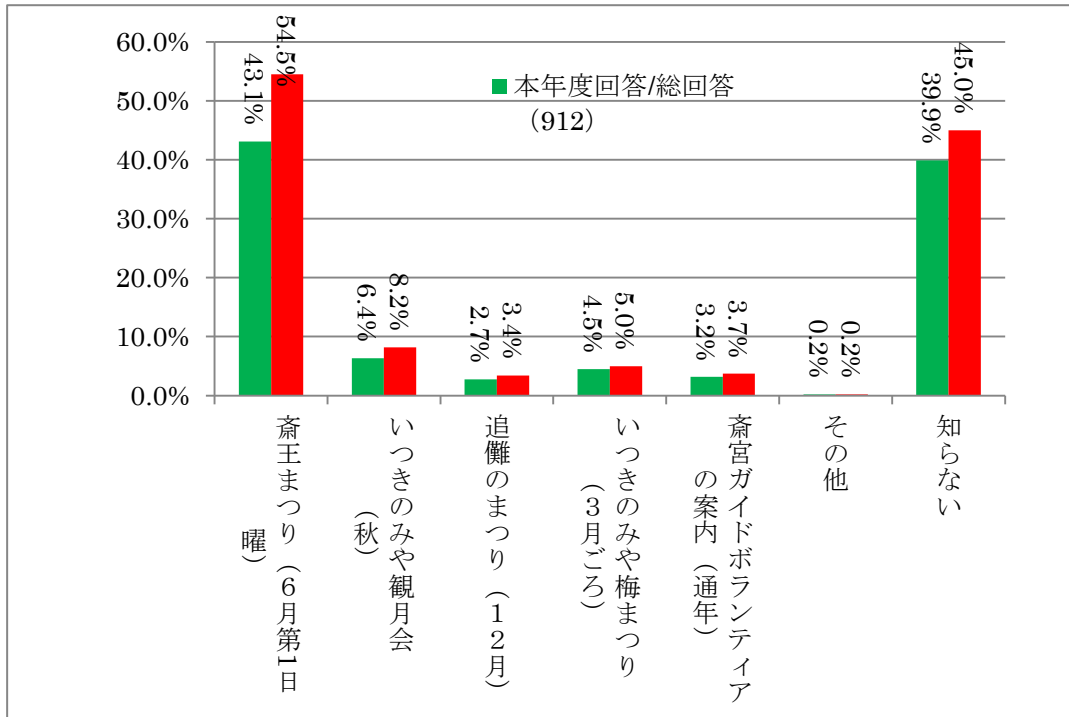
- ・ 齋宮を知らなかったから
- ・ 交通が不便だから

【行く機会がなかったと回答した人が選んだ、他の理由】

(人数)

地域別	行く機会がなかった	行ってみたい施設やイベントがない	齋宮が遠すぎる	齋宮に行くのに費用がかかる	齋宮に関する情報が少ない	齋宮に興味がない
北勢	178	18	28	6	26	16
中南勢	112	17	6	0	14	18
伊賀	40	2	7	2	7	3
東紀州	12	3	2	2	2	2
計	342	40	43	10	49	39

Q13 齋宮でのイベント等で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



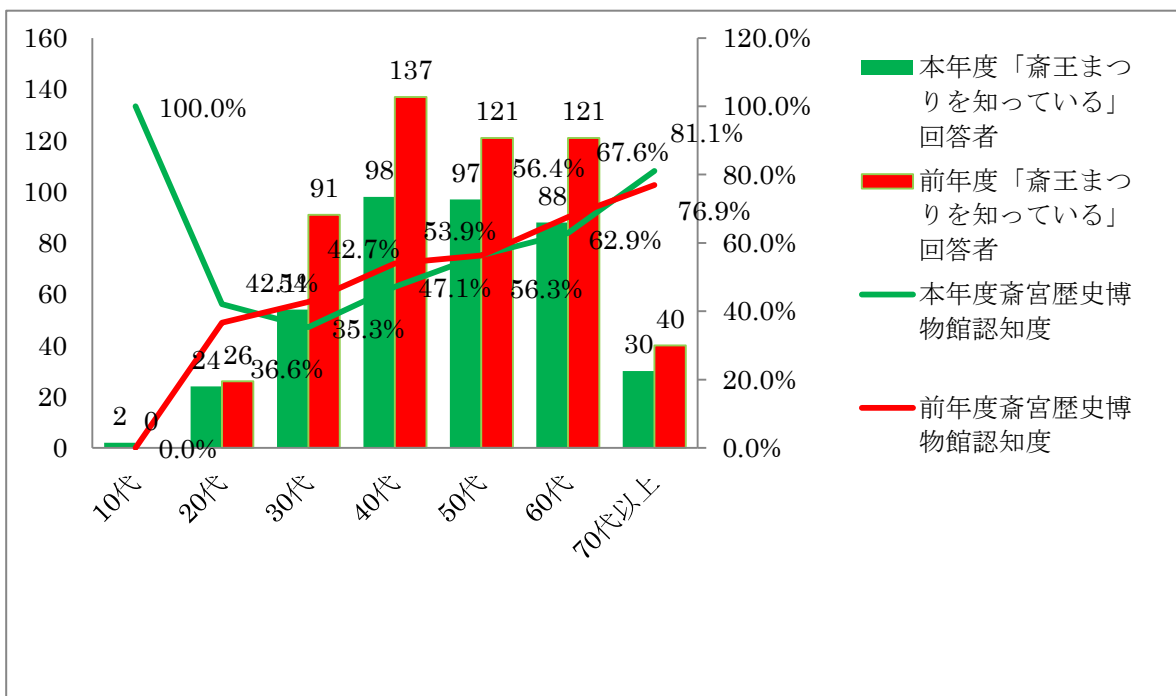
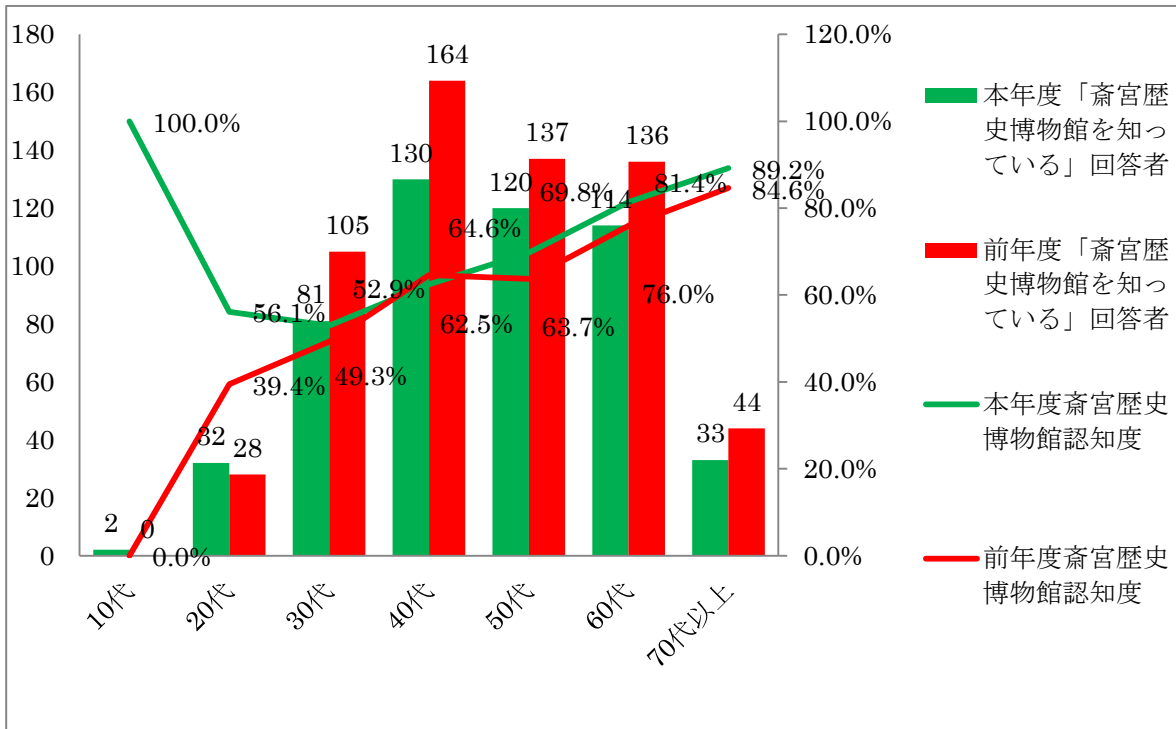
前年度に比べ齋王まつりの認知度が約 10 パーセント以上下がっています。前年度も前々年度と比べ同じく 10%以上下がっているため、齋王まつりの認知度が大きく減少していることがうかがえます。

齋宮に関するイベント全般の認知度が減少していますが、知らない人は減少しています。

齋王まつりを知っている人と齋宮のイベントを知らない人の割合の合計が 80%を超えていますので、齋宮のイベント認知を増やすためには、齋王まつりが認知されることの重要性を示しています。

なお、その他は 2 件 0.2%でしたが、記入なしが 1 件と齋宮のイベントを「広告媒体で知ったのみ」という回答でした。

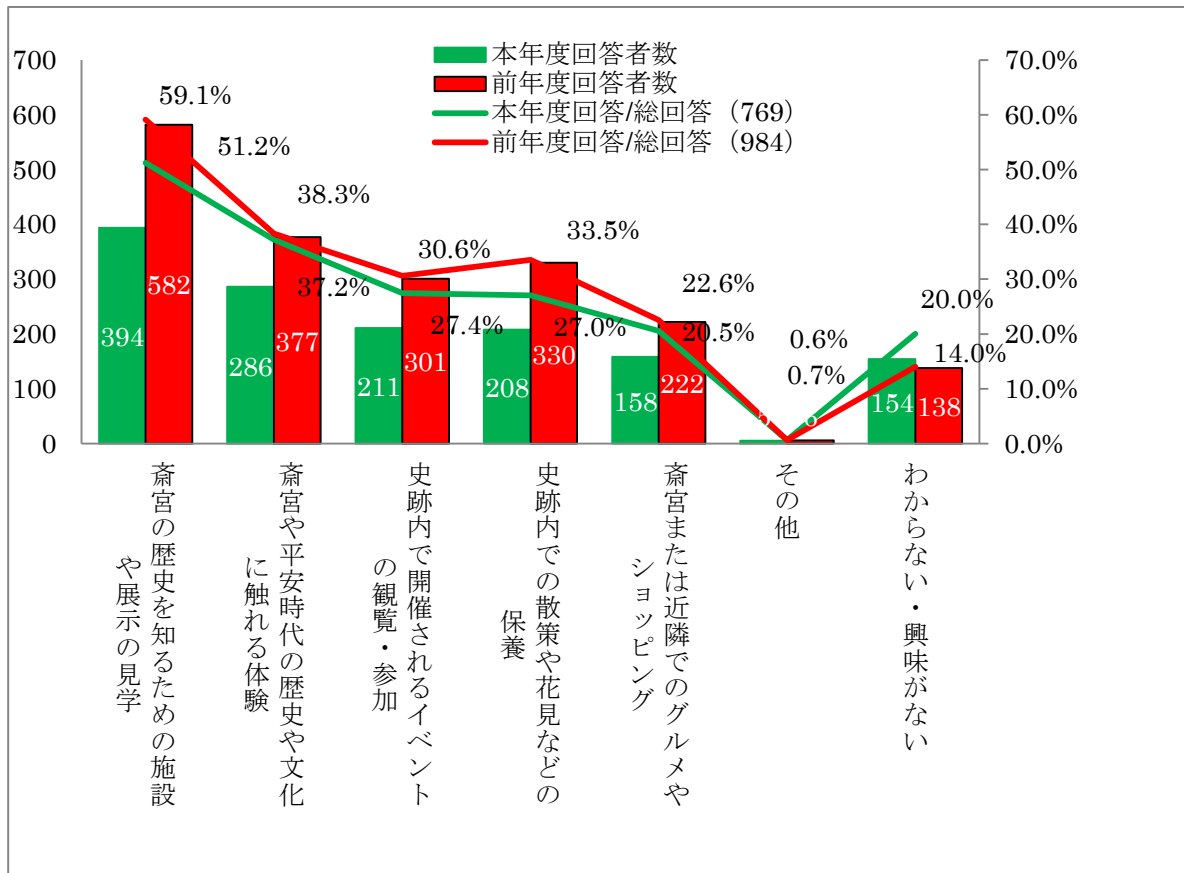
【年代別にみる齋宮歴史博物館（Q2から抽出）と齋王まつりの認知度】



博物館の認知度は、20代を除き前年度比で減少しています。

齋王まつりの認知度については、全世代で前年度より減少しています。

Q14 齋宮に行くとしたら、何をしたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。



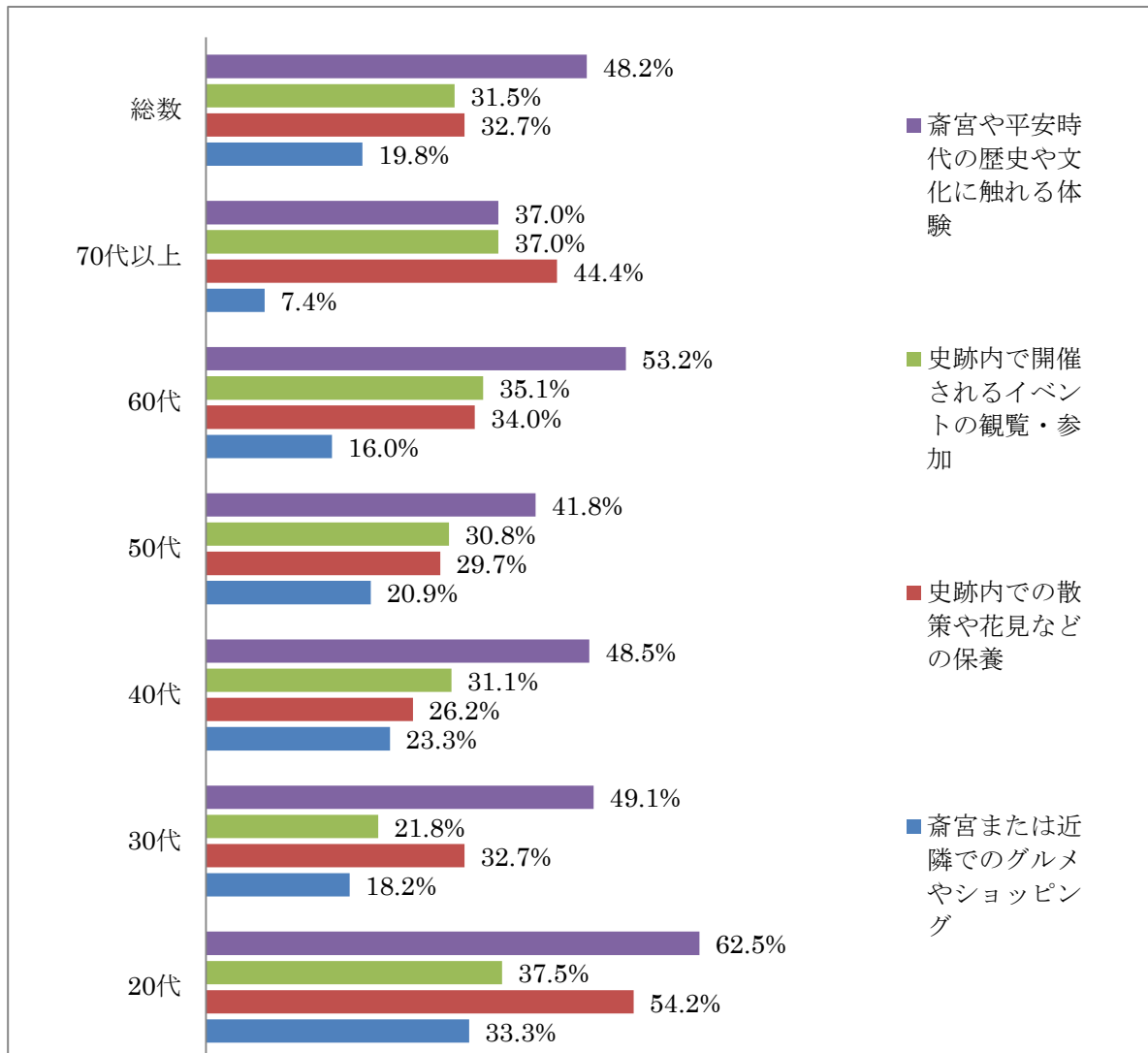
博物館が主に対応することになる齋宮の歴史を知りたい人が 51.2%いますが、その率は前年度より 7.9%減少しています。

また、文化体験は前年度と同じく 3 人に 1 人が期待していますが、イベント、散策や保養などを期待する人の割合は 30%以下となり、グルメやショッピングの数値に近づいていますので、齋宮来訪時の動機づけとしては弱いようです。

なお、その他の主な内容は次のとおりでした。

- ・遺跡の発掘体験
- ・歴史の学習

【年代別にみた齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学と回答した人が、それ以外に回答した選択肢の割合】

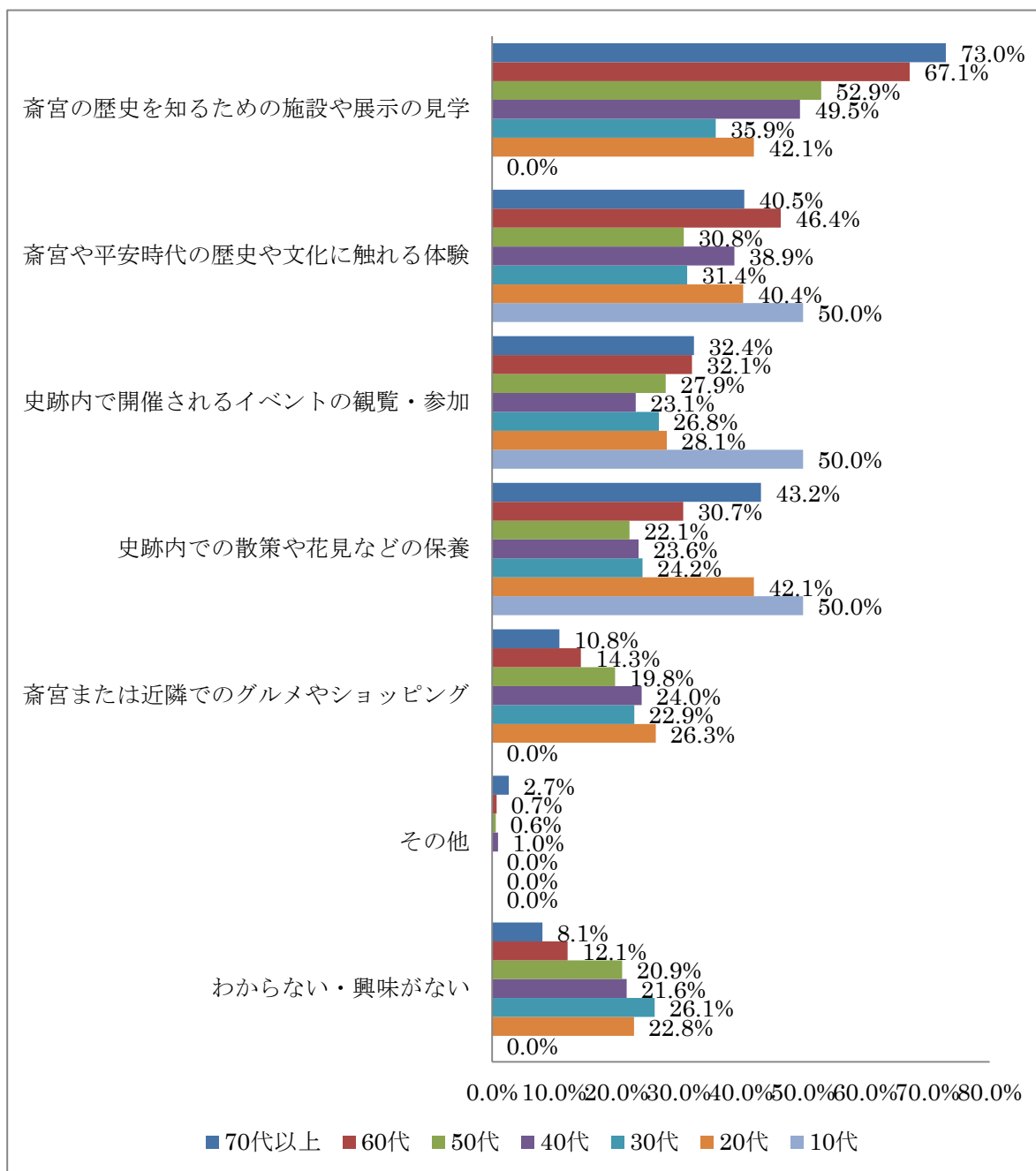


5割の人が齋宮の歴史を知ることが齋宮来訪の動機としていましたが、その人たちがそれ以外にどのようなことに興味があるかを年代別に集計しました。どの年代も歴史・文化体験に高い関心があるようです。

20代、30代、70代は、イベントよりも史跡内の散策や保養に関心があり、40代、50代、60代は史跡内の散策・保養よりもイベントに関心があるという結果が出ています。

また、どの世代もグルメやショッピングは、選択肢のなかで一番低い結果になっていますが、20代は高い回答率を示しています。

【年代別 齋宮でしたいこと回答割合（回答数／年代総数）】



齋宮でしたいことを年代別で集計すると、「齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学」では、20代が6.2%30代より回答率が高くなっていますが、それ以外では高齢者ほど回答率が高い傾向があります。

「齋宮または近隣でのグルメやショッピング」や「わからない・興味がない」では、若い年代ほど回答率が高い傾向にあります。

Q15 ご自身にとって齋宮で充実・改善すべきものは何だと思われますか。他地域での体験や経験によるものでもよいのでご意見をお聞かせください。

回答の主な内容は次のとおりでした。

- ・セットで観光できる周辺地域の整備。
- ・伊勢との関連で広報することが効果的だと思う。
- ・施設を回ることでもらえるスタンプラリーは歴史や文化を学びながらゲーム感覚で楽しめるので良いと思う。
- ・歴史博物館に常設展しかないため再訪しようとは思わない。
- ・伊勢神宮が目的で伊勢方面へ行くことが多いので、伊勢神宮からのアクセスの良さがあると良いと思います。
- ・近鉄電車が普通しか止まらないのが不便だと思う。
- ・齋宮への道が分かりにくいと思う。
- ・おいしいものがあると人が集まるから、食がからんだイベントがあるといい。
- ・現在頑張られている方には申し訳ありませんが、ガイドの方をもっと若い方にした方が同年代の方も足を運びやすくなると思います。
- ・齋宮の歴史について認知しやすいドラマやアニメなどメディアを利用してはどうかと思います。
- ・特に三重県の北部に住んでいると、「遠い」イメージがある。
- ・ミニチュアで全体が一目でわかるより、キトラ古墳壁画体験館のように実物大または精巧な作りで感動するような体験が出来れば、もっと行くと思います。
- ・国道 23 号および、県道 37 号からのアクセスが分かりにくい。初めて行くと間違う。
- ・齋宮の歴史に焦点を当てた歴史番組を企画して関西、中京圏で放映したら良いのではと思われる。
- ・たとえば伊賀市青山の阿保地区住民自治協議会では毎年、3 月に初瀬街道まつりを行って 3 千人近い人が来ます。その会場にイラストのわかりやすいパンフを置いておく

※なお、認知度が低いので、認知度向上が必要、広報の充実が必要のご意見が多数ありました。